
第7回 日野町議会定例会会議録（第4日）

令和2年9月25日（金曜日）

議事日程

令和2年9月25日 午前10時開議

- 日程第1 諸般の報告
- (1) 議会関係の報告（議長）
 - (2) 一般行政報告（町長）
- 日程第2 委員会付託事件の審査報告
- 陳情第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、
2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情（教育民生常任委員会）
- 日程第3 議案第52号 令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第4 議案第53号 令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
（町長）
- 日程第5 議案第54号 令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第6 議案第55号 令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
（町長）
- 日程第7 議案第56号 令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について（町長）
- 日程第8 議案第57号 令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（町
長）
- 日程第9 議案第58号 令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定につい
て（町長）
- 日程第10 議案第59号 令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）（町長）
- 日程第11 議案第60号 日野町議会会議規則の一部改正について（議員）
- 日程第12 意見書第3号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地
方税財源の確保を求める意見書の提出について（議員）
- 日程第13 意見書第4号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出
について（議員）
- 日程第14 議員派遣の件

日程第15 閉会中の継続調査の申し出

本日の会議に付した事件

日程第1 諸般の報告

(1) 議会関係の報告 (議長)

(2) 一般行政報告 (町長)

日程第2 委員会付託事件の審査報告

陳情第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、
2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情 (教育民生常任委員会)

日程第3 議案第52号 令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定について (町長)

日程第4 議案第53号 令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
(町長)

日程第5 議案第54号 令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (町長)

日程第6 議案第55号 令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
(町長)

日程第7 議案第56号 令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について (町長)

日程第8 議案第57号 令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について (町
長)

日程第9 議案第58号 令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定につい
て (町長)

日程第10 議案第59号 令和2年度日野町一般会計補正予算 (第5号) (町長)

日程第11 議案第60号 日野町議会会議規則の一部改正について (議員)

日程第12 意見書第3号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地
方税財源の確保を求める意見書の提出について (議員)

日程第13 意見書第4号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出
について (議員)

日程第14 議員派遣の件

日程第15 閉会中の継続調査の申し出

出席議員（10名）

1番 中山 法 貴	2番 梅 林 敏 彦
3番 山 形 克 彦	4番 金 川 守 仁
5番 松 尾 信 孝	6番 中 原 信 男
7番 安 達 幸 博	8番 佐々木 求
9番 竹 永 明 文	10番 小 谷 博 徳

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	伊 田 喜 浩	書記	浦 部 俊 一
		書記	三 好 達 也

説明のため出席した者の職氏名

町長	埴 田 淳 一	副町長	音 田 守
教育長	生 田 進	総務課長	渡 部 裕 之
住民課長兼会計管理者	遠 藤 律 子	企画政策課長	荒 木 憲 男
健康福祉課長	住 田 秀 樹	産業振興課長	角 井 学
建設水道課長	飛 田 朋 伸	教育課長	砂 流 誠 吾

午前10時00分開議

○議長（小谷 博徳君） おはようございます。ただいまの出席議員数は10人であり、定足数に達していますので、これより令和2年第7回日野町議会定例会4日目を開会いたします。

本日の定例会は、マスク着用や換気に留意するなど、新型コロナウイルス感染対策を講じて進めますので、御理解のほどお願いいたします。

なお、出席議員には例規の確認のため、タブレット端末機使用を許可しております。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしました日程のとおりであります。

日程第1 諸般の報告

○議長（小谷 博徳君） 日程第1、諸般の報告を行います。

本町の監査委員から、地方自治法第235条の2の規定による例月出納検査の結果について、報告がありました。別紙写しを配付し、報告といたします。

次に、第7回定例会以後の議会関係について報告いたします。

9月12日、「WEST EXPRESS 銀河」根雨駅初停車の歓迎に、議長が出席しました。

9月17日、畜産堆肥散布事業の開始セレモニーに、議長が出席しております。

続いて、一般行政報告を埴田町長が行います。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 9月4日以降の一般行政報告を申し上げます。

初めに、9月11日に運行開始したJR西日本の長距離観光特急列車「WEST EXPRESS 銀河」について、9月12日の夕刻、上り一番列車が根雨駅に到着し、大勢の地元住民で出迎えを行いましたので、御報告いたします。当日はあいにくの雨模様でしたが、約30分の停車時間には多くの乗客が下車され、金持神社の分祀に手を合わせられたり、金持神社の縁起物や地元特産品などを購入される方々で根雨駅がにぎわいました。11月末までの銀河運行期間中、根雨駅には計20回停車し、延べ1,000人の方々が根雨駅を訪れられる予定でございます。銀河運行を好機と捉え、引き続き乗客の方々に日野町の魅力をアピールし、本町の観光誘客の拡大につなげていきたいと考えております。

次に、9月17日、畜産堆肥散布事業の開始セレモニーを開催いたしましたので、御報告いたします。この事業は、昨年度策定いたしました日野町がんばる地域プランに基づく新たな取組であり、本町の長年の悲願であった畜産堆肥を活用して、町内農地の地力アップにつなげることを目指しております。セレモニー当日は、実施主体である農林振興公社をはじめ、農業委員会、農業関係者、県など多くの関係者で事業開始を祝い、本年度の散布予定面積約32ヘクタールへの作業をスタートさせました。本年度は、日野町農業の礎を築く大事な1年であります。引き続き、がんばる地域プランに基づく各種取組を推進し、持続可能な農業体系を構築していきたいと考えております。

以上が、一般行政報告でございます。

日程第2 委員会付託事件の審査報告

○議長（小谷 博徳君） 日程第2、委員会付託事件の審査報告を議題といたします。

教育民生常任委員会付託事件の教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情について、委員長の報告を求めます。

8番、佐々木求議員。

○教育民生常任委員会委員長（佐々木 求君） 陳情審査報告書。審査の結果、1、採択とすべきもの。(1) 件名、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情（受第4号、令和2年5月22日、鳥取県教職員組合西部支部支部長、内田浩文外1名）。(2) 理由、教職員の働き方改革を実現するためには、教職員定数の改善が必要であり、子供たちの豊かな学びを保障するためには、義務教育費国庫負担2分の1の復元が必要であるために採択とした。

本委員会は上記のとおり決定したので、報告します。

令和2年9月25日。教育民生常任委員会委員長、佐々木求。日野町議会議長、小谷博徳様。

○議長（小谷 博徳君） 先ほど、「8番、佐々木求議員」と指名いたしましたが、「8番、佐々木求委員長」に訂正をいたします。

審査報告が終わりましたので、質疑を行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情についての採決を行います。

お諮りいたします。本件は、委員長報告のとおり採択とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、本件は、採択と決定いたしました。

日程第3 議案第52号 から 日程第9 議案第58号

○議長（小谷 博徳君） 日程第3、議案第52号、令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定

についてから、日程第9、議案第58号、令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7議案を一括議題といたします。

一括議題にすることに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議がないようですので、一括議題といたします。

各議案につきましては、決算審査特別委員会に審査を付託してありますので、委員会における審査報告を求めます。

2番、梅林敏彦副委員長。

○決算審査特別委員会副委員長（梅林 敏彦君） それでは、報告します。

決算審査報告書

1 審査事件

令和元年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

- (1) 令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

3 委員会の開催状況

令和2年9月4日、7日、14日、15日、16日、23日、24日の7日間

4 審査結果

(1) 結果

賛成多数で認定すべきものと決定した。

(2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数

は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

(1) 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源1,975,000円を除いた実質収支が、280,728,149円と黒字決算でおおむね良好である。

①歳入に関する事項

調定額3,663,934,539円に対し、収入済額3,575,786,420円で収納率は97.59%で、前年度と比較してわずかではあるが上回った状況となっている。

収入未済額（未納額）は88,148,119円で、前年度と比較して2,413,919円減少しているが、この要因としては住宅新築資金等貸付金等の回収が進んだことなどが要因と考えられる。

未納額の内訳を見ると、町税が14,771,550円、住宅使用料3,149,603円、住宅新築資金等貸付金57,024,652円、災害援護資金貸付金13,188,314円などとなっている。

未納額の大半を占める、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額である。また町民税や固定資産税では新規滞納者も出ている状況である。

未納者も多重債務化の状況にはあるが、未納額が財政運営に及ぼす影響は大きいことを引き続き念頭に据え、町長以下職員が一丸となって、未納者個々の実態把握と新たな未納者の抑制など、細心の対策を講じながら未納額の徴収、回収に努められたい。

②歳出に関する事項

歳出では、主に事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

民生、教育、産業分野など幅広く事業は行われているが、主な事業としては、庁舎空調設備更新事業、防災基地整備事業、道路橋梁修繕事業、農林業施設災害復旧事業などが挙げられる。

予算現額3,560,831,000円に対し、支出済額は3,293,083,271円、翌年度繰越額63,438,000円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は94.16%であった。

不用額は204,309,729円と多額であり、当初予算を編成する際は、十分考慮した予算編成とされたい。また、執行状況によっては、必要に応じて減額補正などの対策

を講じられたい。

さらに事業実施の際には、財源の確保を図るとともに、予算執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況についても正確と認められる。

財政調整基金、公共施設等長寿命化基金をはじめとする基金総額は、2,288,614,000円と増加しており評価できるが、今後は活用方法も検討されたい。

(2) 特別会計

①国民健康保険特別会計

決算での実質収支は、1,816,016円で、おおむね良好である。

歳入の状況は、調定額421,060,265円に対し、収入済額は398,530,362円、収入未済額は22,529,903円、徴収率は94.65%となっている。国民健康保険税については、新たな滞納者も増えているので、徴収についてはさらなる努力をされたい。

歳出の状況は、支出済額396,714,346円、不用額27,484,654円で、執行率は93.52%となっている。

②介護保険特別会計

決算での実質収支は、41,249,345円となっている。

歳入の状況は、調定額648,460,691円に対し、収入済額は648,460,691円で、収納率は100%となっている。介護保険料は前年度一部未納となったが、令和元年度は全額徴収されており評価できる。

歳出の状況は、収入済額607,211,346円、不用額118,842,654円で、執行率は83.63%となっている。昨年に比較しても多額の不用額が発生しているため、今後の保険給付費の算定にあたっては精査を行っていただきたい。また、介護予防の取り組みについてもさらに努められたい。

③後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は、191,200円で、おおむね良好である。

歳入の状況は、調定額53,812,353円に対し、収入済額も同額で、収納率は100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額53,621,153円、不用額986,847円で、執行率は

98.19%となっており、おおむね良好である。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額75,246,120円、収入済額74,936,160円、収納率99.59%となっており、おおむね良好である。収入未済額は309,960円と昨年より若干ではあるが増加しており、現年分で2件の新規滞納者がでている。滞納分の取り扱いについては引き続き検討されたい。

歳出の状況は、支出済額74,936,160円、不用額1,001,840円で、執行率は98.68%となっており、予算執行はおおむね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額158,153,943円、収入済額158,061,003円、収納率99.94%の状況であり、おおむね良好である。滞納分1件の取り扱いについては引き続き検討されたい。

歳出の状況は、支出済額155,061,003円、翌年度繰越額131,000,000円、不用額6,248,997円で、令和2年度への繰越額を除いた執行率は96.13%となっており、予算執行はおおむね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額38,230,495円、収入済額38,195,975円、収納率99.91%の状況であり、おおむね良好である。前年度からの滞納2件が解消しておらず対応について検討されたい。

歳出の状況は、支出済額38,195,975円、不用額477,025円で、執行率は98.77%となっており、予算執行は良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による財政健全化判断比率について

4指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となってい

るため問題はなく、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となり
おり問題はない。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の25.0%を下回る7.0%であり、年々健全
化に推移している。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層
の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。

令和2年9月25日

決算審査特別委員会

副委員長 梅林 敏彦

日野町議会議長 小谷 博徳 様

以上で報告を終わります。ありがとうございました。

○議長（小谷 博徳君） 報告が終わりましたので、これより委員会報告に対する質疑を行います。
質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより、討論を行います。この討論、採決は、議案番号順に行います。

日程第3、議案第52号、令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定についての討論を行
います。討論ありませんか。

8番、佐々木求議員、反対討論ですか。

○議員（8番 佐々木 求君） はい。

○議長（小谷 博徳君） 8番、佐々木求議員。

○議員（8番 佐々木 求君） 私は、この令和元年度一般会計決算について、不認定の討論を行
いたいと思います。

何といても最大の問題点は、当初予算編成の際にも申し上げましたが、例年のように同和対
策事業関連の予算が大きく執行されていることでもあります。小さな課題は様々あるとは思いますが、私はこの間、予算決算においてこの点を厳しく批判してまいりましたが、それは同和行政の
やり方、在り方が決して真の差別解消にはならなかったし、これからもならないということです。
今回でも2,000万円前後が支出されておりますが、5年で1億、10年で2億もの大金がこ

の事業に費やされてきました。結果、何が前進し解決されたのか。町民の貴重な財源を使うことを認めた私たち議員にもその責任が厳しく問われることだと私は考えております。その多くが人件費であり、雇用という側面があるにせよ、また、県政や国政の誤りがあるとしても、決して許されることではありません。私は改めてこの課題としっかりと向き合うことが大事ではないかと考えるものであります。2002年、同和対策事業特別措置法が失効し、法的根拠ない状態で、14年間根拠なき支出が行われ、2016年に部落差別解消推進法、いわゆる理念法が制定されました。これは差別を具体的に示したのも、事業の終了目標を具体的に示したのもありません。つまり、このまま推移していけば、二重の誤りを私たちは犯すことになります。一日も早い終結こそ願うものとしては、絶対に容認できないことであるだけでなく、予算の執行が差別を容認し、町民に多大な負担を強いるものになってしまうと考えざるを得ません。これだけのお金が全町で公平、公正に、正統に活用されたなら、どれだけ有効な事業が行えるでしょうか。今こうした不平等にきちんと向き合うことが大切で、真の財政健全化は、こうしたことに目をつむることではなく、向き合うことだと考えます。町民に多大な負担を強いてきた、こうした予算の執行を認めることは断じてできないし、差別なき日野町の実現に向けて頑張るときだと私は考えております。一地方の議員といえども、住民の代表の一人として社会的正義にきちんと今こそ向き合うことが、私たちの使命だと考えます。同和対策事業の終結宣言こそ今求められていることであり、差別解消の第一歩であります。次年度予算に向けた最大の課題であることを述べて、不認定の討論といたします。

○議長（小谷 博徳君） 次に、原案に賛成の討論を行います。

6番、中原信男議員。

○議員（6番 中原 信男君） 私は、令和元年度決算の認定について、賛成の立場で討論をいたします。理由を申し述べます。

元年度決算においては、町制60周年に伴い、各事業が実施され、中でも庁舎の空調設備等のリニューアル、防災基地の整備などによる安心・安全なまちづくり、住民サービスの推進など、町民福祉の向上に資する事業が行われた。財政面に関しては、実質公債比率が単年度で5.97%、また、3か年平均7.0%と財政の健全化が推進された。以上の観点から、決算審査特別委員会が示された結果報告のとおり認定することに対し、賛成の討論といたします。

最後に加えさせていただきますが、同和関係の事業に関して平成28年度12月における国会において新たな法律、部落差別解消推進法、この法律の趣旨を我が日野町も十分踏まえ、今実施、部落差別の解消に推進されてるというふうに認識をしております。以上の観点でありますので、

元年度決算に対する賛成討論を終わります。

○議長（小谷 博徳君） 以上で、討論を終わります。

これより、日程第3、議案第52号、令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第52号は、認定されました。

次に、日程第4、議案第53号、令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第4、議案第53号、令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第53号は、認定されました。

次に、日程第5、議案第54号、令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第5、議案第54号、令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第54号は、認定されました。

次に、日程第6、議案第55号、令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第6、議案第55号、令和元年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第55号は、認定されました。

次に、日程第7、議案第56号、令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第7、議案第56号、令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第56号は、認定されました。

次に、日程第8、議案第57号、令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第8、議案第57号、令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第57号は、認定されました。

次に、日程第9、議案第58号、令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についての討論を行います。

[討論なし]

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第9、議案第58号、令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、委員会報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第58号は、認定されました。

日程第10 議案第59号

○議長（小谷 博徳君） 次に、日程第10、議案第59号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ただいま上程いただきました議案第59号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）につきまして御説明申し上げます。議案書を御覧いただきたいと思います。

これは、歳入歳出それぞれ200万円を減額し、予算総額を46億5,022万2,000円とするものでございます。補正額等は2ページ、第1表、歳入歳出予算補正を御覧いただきたいと思います。このたびの補正予算では、ひのっこ保育所の空調設備設置費用と交流促進施設リバーサイドひのの客室洋室化に係る工事費の増額などを計上しております。

まず、ひのっこ保育所の空調設備でございますが、建設以来使用してまいりましたが、老朽化により故障いたしました。機械が古く、修理部品の調達も非常に困難であるため、新設とし、設備を部屋ごとのエアコンに切り替えたいと考えます。また、今年度、交流促進施設リバーサイドひのの客室の一部洋室化を進めておりますが、火災対策の観点から、ドア、壁、天井材などを防火、防災、不燃材料に変更する必要があるため、増額補正をお願いしたいというものでございます。

詳細につきましては、総務課長より説明させますので、御審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（小谷 博徳君） 渡部総務課長。

○総務課長（渡部 裕之君） 議案第59号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）につ

いて御説明をいたします。

3 ページの歳入歳出補正予算事項別明細書につきましては御覧をいただきたいと思います。

4 ページ、歳入について御説明をいたします。繰入金、基金繰入金、森林整備基金繰入金は200万円の減額です。リバーサイドひの客室の洋室化について、火災対策のため防火、防災、不燃材料への変更により、県産材の使用が困難となったために、森林整備基金を財源に充てることができなくなりましたので、200万円を減額するものでございます。

次に、歳出について御説明いたします。総務費、財政調整基金費は公共施設等長寿命化基金積立金550万2,000円の減額です。公共施設等長寿命化基金積立金を減じ、今補正予算の財源とするものです。民生費、児童福祉総務費は200万2,000円の増額です。これは、ひのっこ保育所のエアコン故障に伴い、保育室4室のエアコンを新たにするための工事請負費です。農林水産業費、農業費、山村振興費は150万円の増額、リバーサイドひのの客室一部洋室化に伴う火災対策に係る工事請負費の増額です。財源についてでございますが、歳入の項で御説明いたしました森林整備基金繰入金200万円を減額し、一般財源350万円を充てるものです。

以上が、令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）の提案説明でございます。

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑は歳入歳出併せて行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第10、議案第59号、令和2年度日野町一般会計補正予算（第5号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第59号は、原案のとおり可決されました。

日程第11 議案第60号

○議長（小谷 博徳君） 日程第11、議案第60号、日野町議会会議規則の一部改正についてを

議題といたします。

提出者の説明を求めます。

9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君） 議案第60号、日野町議会会議規則の一部改正について。

日野町議会会議規則の一部を別紙のとおり改正する。

令和2年9月25日提出。提出者、日野町議会議員、竹永明文。賛成者、日野町議会議員、安達幸博。賛成者、日野町議会議員、佐々木求。賛成者、日野町議会議員、中原信男。賛成者、日野町議会議員、松尾信孝。

これは、日野町議会会議規則第1条の一部を改正するものです。改正内容は、新型コロナウイルスの感染拡大や大規模自然災害等により、議場が使用できなくなった場合に、議長が別に指定する場所で議会を開催することを追加するものであります。詳細につきましては、議案書を御覧ください。

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第11、議案第60号、日野町議会会議規則の一部改正についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第60号は、提案のとおり提出することに決定をいたしました。

日程第12 意見書第3号

○議長（小谷 博徳君） 日程第12、意見書第3号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

9番、竹永明文議員。

○議員（9番 竹永 明文君）

意見書第3号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に

対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

別紙のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を提出する。

令和2年9月25日提出

提出者 日野町議会議員 竹 永 明 文

賛成者 日野町議会議員 安 達 幸 博

賛成者 日野町議会議員 佐々木 求

賛成者 日野町議会議員 中 原 信 男

賛成者 日野町議会議員 松 尾 信 孝

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し

地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地方経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保 充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
 - 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
 - 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
 - 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月25日

鳥取県日野町議会

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第12、意見書第3号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、意見書第3号は、提案のとおり提出することに決定をいたしました。

○議長（小谷 博徳君） ここで、日程第11、議案第60号の訂正をさせていただきます。

議案第60号、日野町議会会議規則の一部改正についての「提案のとおり提出することに決定をした」と議長が言いましたけど、「提案のとおり可決されました」に訂正をいたします。

日程第13 意見書第4号

○議長（小谷 博徳君） 日程第13、意見書第4号、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

8番、佐々木求議員。

○議員（8番 佐々木 求君）

意見書第4号

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
の提出について

別紙のとおり、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための意見書を提出する。

令和2年9月25日提出

提出者	日野町議会議員	佐々木	求
賛成者	日野町議会議員	中山	法貴
賛成者	日野町議会議員	竹永	明文
賛成者	日野町議会議員	中原	信男
賛成者	日野町議会議員	山形	克彦

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

新型コロナウイルス感染症対策として3月には全国で一斉臨時休業が行われました。また、4月以降も、再開する学校、休業が延長された学校、再休業に入る学校などがあり、学校現場では学びの保障や心のケア、感染症対策など教職員が不断の努力を続けています。

学校現場では、新学習指導要領への対策だけでなく、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十

分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配措置ではなく抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠です。

義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下の「三位一体改革」の中で国庫負担金が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、ゆたかな子どもの学びを保障するための条例整備は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることが出来るように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和2年9月25日

鳥取県日野町議会

○議長（小谷 博徳君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第13、意見書第4号、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、提案のとおり提出することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、意見書第4号は、提案のとおり提出することに決定

をいたしました。

日程第 1 4 議員派遣の件

○議長（小谷 博徳君） 日程第 1 4、議員派遣の件を議題といたします。

今後予定されております議員派遣の件については、お手元に配付しております文書のとおりであります。

議員派遣の件について、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣の件は、別紙のとおり決定いたしました。

日程第 1 5 閉会中の継続調査の申し出

○議長（小谷 博徳君） 日程第 1 5、閉会中の継続調査の申し出を行います。

最初に、総務経済常任委員会。

5 番、松尾信孝議員。

○総務経済常任委員会委員長（松尾 信孝君） 閉会中の継続調査の申し出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります地域の活性化及びまちづくりについて、閉会中も継続する必要があると認めるので、会議規則第 7 5 条の規定により申し出ます。令和 2 年 9 月 2 5 日。
総務経済常任委員会委員長、松尾信孝。

○議長（小谷 博徳君） 次に、教育民生常任委員会。

8 番、佐々木求議員。

○教育民生常任委員会委員長（佐々木 求君） 閉会中の継続調査の申し出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります学校教育環境の整備・充実、医療・福祉のまちづくりについて、閉会中も継続する必要があると認めるので、会議規則第 7 5 条の規定により申し出ます。
令和 2 年 9 月 2 5 日。教育民生常任委員会委員長、佐々木求。

○議長（小谷 博徳君） 次に、議会広報常任委員会。

4 番、金川守仁議員。

○議会広報常任委員会委員長（金川 守仁君） 閉会中の継続調査の申し出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります議会だより編集・発行、広聴について、閉会中も継続する必要があると認められるので、会議規則第 7 5 条の規定により申し出をします。令和 2 年 9 月 2

5日。議会広報常任委員会委員長、金川守仁。

○議長（小谷 博徳君） 次に、議会運営委員会。

9番、竹永明文議員。

○議会運営委員会委員長（竹永 明文君） 閉会中の継続調査の申出を行います。

本委員会は、次の議会の会期など議会運営に関する事項及び議会の活性化について、閉会中も継続する必要があると認めるので、会議規則第75条の規定により申し出ます。令和2年9月25日。議会運営委員会委員長、竹永明文。

○議長（小谷 博徳君） お諮りいたします。ただいま申出のありました事件について、それぞれ閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。よって、申出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定をいたしました。

○議長（小谷 博徳君） 以上で本定例会に付議されました事件は全て終了いたしました。よって、会議規則第7条の規定により、閉会したいと思います。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。令和2年第7回日野町議会定例会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。傍聴ありがとうございました。

午前11時13分閉会
